

(別紙様式1)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：千葉県
農業委員会名：富津市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)
総農家数	1461	農業就業者数	1250	認定農業者	55
自給的農家数	587	女性	655	基本構想水準到達者	0
販売農家数	874	40代以下	69	認定新規就農者	5
主業農家数	102	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	8
準主業農家数	109			集落営農経営	0
副業的農家数	593			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1710	586	0	0	0	2290
経営耕地面積	1069	179	146	14	19	1248
遊休農地面積	97	38	38	0	0	135
農地台帳面積	2226	934	934	0	0	3160

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 R2 年 7 月 13 日

	農業委員			定数	実数	地区数
	定数	実数				
農業委員数	14	14	農地利用最適化推進委員	12	12	12
認定農業者	—	10				
認定農業者に準ずる者	—	—				
女性	—	2				
40代以下	—	1				
中立委員	—	1				

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	2290ha	108ha	4.7%
課 題	・担い手の減少 ・農地の条件悪化		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 183ha (うち新規集積面積75ha)
	目標設定の考え方:富津市農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針
活動計画	・ヤミ耕作の解消 ・継続漏れの是正

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	平成29年度新規参入者数	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	8経営体
	平成29年度新規参入者が取得した農地面積	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	平成元年度新規参入者が取得した農地面積
	ha	ha	3.5ha
課 題	新規参入は至らないが、参入意向について相談を受ける件数が近年増えているが、相談者の希望する栽培に適した農地のマッチングに時間を要する。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

参入目標数	1経営体	参入目標面積	0.7ha
活動計画	農林水産課と連携し、参入に関する相談者について需要及び農地の情報提供等の支援を行う。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅳ 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	2425ha	135ha	5.6%
課 題	農業者の高齢化と後継者不足により、毎年新たな耕作放棄地が発生しており、一度荒廃した土地の利用は難しく、担い手の確保が課題。また、耕作放棄地の増加によりイノシシ等の有害獣による被害も拡大している。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 16ha 目標設定の考え方:富津市農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針			
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		35人		10月～11月	10月～11月
		調査方法	農業委員、推進委員、事務局、農林水産課職員の4人体制で航空写真を参考に現地調査確認。		
	農地の利用意向調査	実施時期		調査結果取りまとめ時期	
		11月～12月		11月～12月	
	その他				

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

Ⅴ 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	2290ha	0.29ha
課 題	違反解消のため継続的に指導を行っているが、改善につながらず硬直化している	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の活動計画

活動計画	・農地パトロールを実施し、早期発見と解消指導を行い、違反転用の防止を行う。 ・継続的な解消に向けた指導
------	--

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入